

令和4年度に実施した事業をご紹介します



物価高騰対策のために

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の支給	2億4,600万6千円
ハッピーエール券の発行(次世代・シルバー券含む)	1億3,664万6千円
水道料金の基本料金の免除	6,505万5千円
小規模事業者等応援金の支給	3,507万5千円



市のこれからのために



ごみ処理・し尿処理施設の維持管理	5億7,402万9千円
市道の維持管理	2億5,474万1千円
水害防止のための排水対策	9,516万円
街路灯のLED化工事	1,864万円
公共施設への公衆無線LANの設置	1,787万8千円



生活に安心をお届けするために

障がい福祉サービスの給付	10億5,927万5千円
埼玉東部消防組合運営費の負担金	8億1,182万3千円
生活保護費の支給	7億6,865万5千円
乳幼児や高齢者への予防接種	1億904万7千円
通学路などの交通安全対策	4,422万4千円
市内循環バスの運行	3,878万円



通学路などの交通安全対策



子どもたちの未来のために



幸手産おこめ引換券の発行
(未就学児1人につき30kg分)
※ハッピー・スマイル(米)ル推進事業

児童手当・児童扶養手当の支給	7億5,527万5千円
保育所の管理運営	5億3,697万8千円
学校給食の提供	3億1,574万2千円
小・中学校の施設管理	1億151万円
小・中学校コンピュータ教育の実施	4,988万5千円
未就学児に対する幸手産おこめ引換券の発行	1,007万1千円

詳細は、「決算書」「主要施策成果表」をご覧ください。

市ホームページのほか、市役所情報公開コーナー、各公民館、図書館(本館および香日向分館)で公開しています。

問合せ

一般会計・特別会計について
水道事業会計について
公共下水道事業会計について

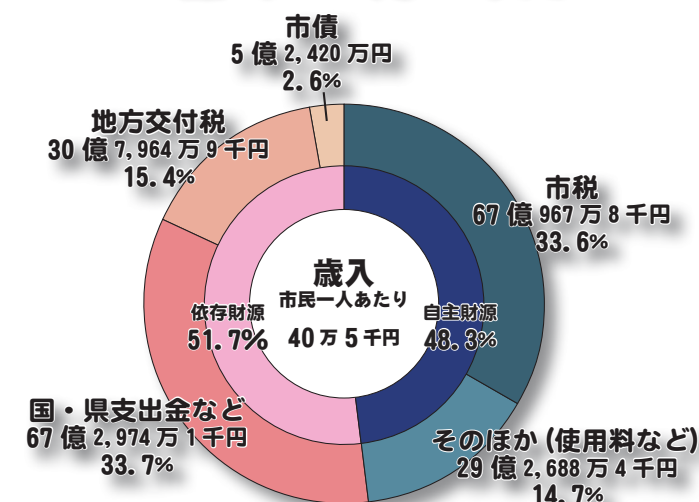
財政課 ☎ (43) 1111 内線 252
水道管理課 ☎ (48) 0050
下水道課 ☎ (47) 3340

一般会計決算

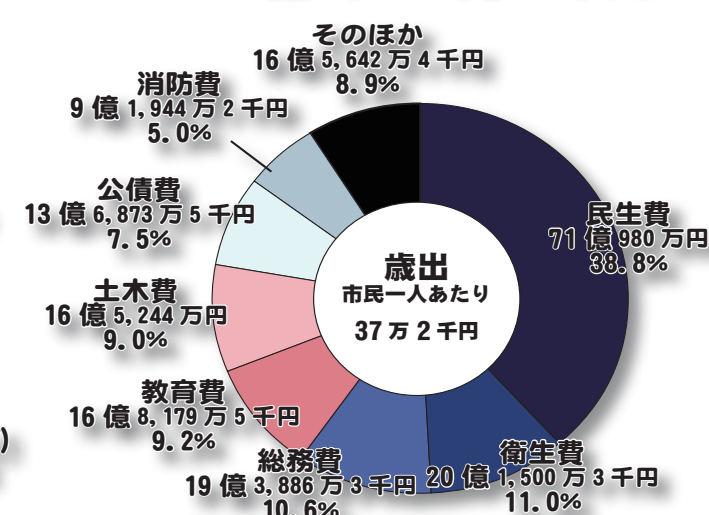
令和4年度決算が9月定例市議会で認定されました。ここでは、みなさんに納めていただいた市税や国・県からの支出金などの収入をどのように使ったのかをお知らせします。

令和4年度一般会計決算は、歳入が199億7,015万2千円、歳出が183億4,250万2千円で、単純な差引(形式収支)は16億2,765万円、令和5年度に行う事業に充てられる繰越金1億2,686万5千円を除いた決算剰余金(実質収支)は15億78万5千円となりました。

市に入ったお金(歳入) 199億7,015万2千円



市が使ったお金(歳出) 183億4,250万2千円

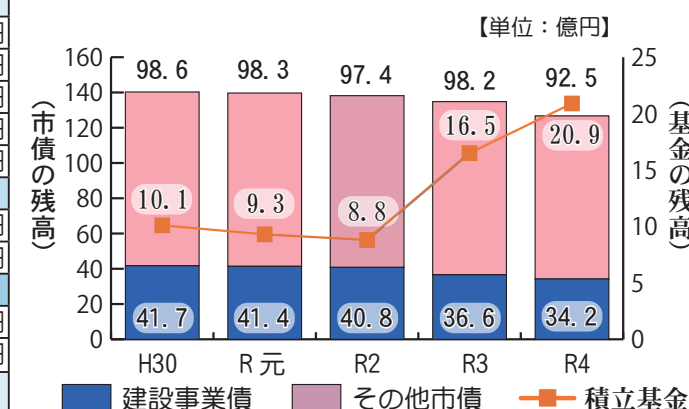


特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	58億2,155万8千円	57億3,681万円
後期高齢者医療	7億9,798万3千円	7億8,768万5千円
介護保険	43億3,640万円	40億5,778万4千円
農業集落排水事業	4,686万4千円	4,300万8千円
幸手駅西口土地区画整理事業	3億328万7千円	2億5,495万3千円
水道事業	収入	支出
収益的収支	11億2,698万1千円	10億1,092万4千円
資本的収支	1,955万円	4億3,796万9千円
公共下水道事業	収入	支出
収益的収支	7億725万5千円	6億7,152万6千円
資本的収支	6億3,973万1千円	6億8,700万8千円

※水道事業・公共下水道事業の資本的収入と資本的支出の差額については、企業内部に留保された資金(内部留保資金)により補てんしました。

一般会計の市債・基金残高の推移(年度末時点)



財政健全化判断比率 ～すべて基準を下回っています～

財政健全化判断比率は、市の財政の健全度を判断するもので、それぞれ判断基準である早期健全化基準(〔 〕で表示しています。)などが設けられています。

早期健全化基準を上回ると、早期健全化団体と位置づけられます。市は全会計とも赤字決算ではないため、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は算定されません。

実質公債費比率	市債の返済額などの程度を表します。	3.8% 〔25.00%〕
将来負担比率	今後、返済する市債の残高など、将来支払う負債の程度を表します。	25.5% 〔350.00%〕